

Sonuus

i2M ミュージックポート

MIDI コンバーター・Hi-Z USB オーディオ・インターフェイス

日本語取説

2010 年 11 月版

i2M ミュージックポートをお買い上げ頂きましてまことにありがとうございます。i2M ミュージックポートを有効利用する為に、本マニュアルを充分にお読みになってからご使用下さい。

What is the i2M musicport? (i2M ミュージックポートとは)

i2M ミュージックポートはあなたのお手持ちの楽器とコンピューターをつなぐ新しい方法です。i2M は音色劣化のないハイ・インピーダンス オーディオ・インターフェイスと、外部の特別なピックアップを装着する必要のない、感度抜群のモノ MIDI コンバーターが一体となった製品です。

本機は基本的にはギターとベース用に開発されていますが、人間の声を含めた大多数の楽器に対応しています。

さあ これで あなたのお好みの楽器を使ってサウンドトラックを録音したり、シンセサイザーやサンプラーを演奏する事が出来ます！

Carry Ring (携帯用リング)

i2M ミュージックポートは小さく そして使い勝手が良いので、いつも持ちたいと考えるはず。本機背面にはリングが装着されていますので、キーリングなどに付けておけば、忘れたりする事はありません。また安全に保管出来ることにもなります。

Connections (接続)

i2M ミュージックポートは USB バスパワーで駆動します。単純に同梱されている USB ケーブルの片側を

コンピューターに、もう片側を i2M ミュージックポートに接続して下さい。

コンピューターが i2M ミュージックポートの検出を始めると、本機前面の SONUUS ロゴが赤く点灯します。i2M ミュージックポートは標準クラス・コンプライアント対応ですので、アップル OS X やマイクロソフト・ウィンドウズを含めたオペレーティング・システムで使用される場合は特別なドライバーは必要ありません。

コンピューターで検出作業が完了すると、SONUUS ロゴは緑もしくはオレンジ色に点灯し、正しくコンピューターに認識されて使用準備が整った事を表示します。あなたの楽器を 1/4 インチ・ギター標準ケーブルを使って SONUUS のジャックに接続して下さい。

ここで、お使いのコンピューター音楽ソフトを立ち上げて、i2M ミュージックポートを入力にアサインして下さい(お使いのソフトの環境設定などのモードで、i2M ミュージックポートを MIDI 入力、オーディオ入力にアサインします。ソフト上の詳しい設定方法が分からない場合は、ソフトの販売会社のカスタマーサポート窓口にお問い合わせください)。コンピューター上で認識される MIDI 入力ポートの名称は下記となります。

“i2M musicport”

注) 一部 Windows XP で、“USB Audio Device”と認識される場合があります。

またコンピューター上で認識されるオーディオ入力デバイス名は下記となります。

“Hi-Z Input (i2M msuicport)”

NOTE (注) : SONUUS ロゴが赤く点灯している時に、本機前面の SONUUS ロゴの横に付いている MODE (モード) ボタンを押さないで下さい。i2M ミュージックポートは特別なファームウェアアップグレード・モードに入り、SONNUS ロゴは赤く点滅します。もしこの状態になってしまったら、USB ケーブルを引き抜き、もう一度差し込み SONUUS ロゴが緑に点灯するように設定して下さい (その際、モードボタンは押さないで下さい)。

INPUT GAIN CONTROL (入力ゲイン・コントロール)

i2M ミュージックポートの機能を最大限引き出す為に、入力プリアンプを使用して、入力レベル (ゲイン) を調整する事が出来ます。ゲインは -12dB から +15dB まで調整可能です。標準ラインの入力レベルは 0dB (-10dBV) となります。

この機能はお使いのコンピューターのオペレーティング・システムの”volume”コントロール、もしくは別途フリーダウンロード可能な i2M ミュージック・ソフトウェアを使用して下さい。

Signal Clip (信号クリップ)

入力レベルが大きすぎると、SONUUS ロゴは赤く光り、入力信号がクリップしている事を表示します。その場合、お使いの楽器の出力レベルを下げるか、i2M ミュージックポートの入力レベルを調整して、適正レベルに合わせるように調整して下さい。

Operation (操作)

i2M ミュージックポートの操作は簡単です。

- お手持ちのコンピューターを本機の USB ソケットに接続して下さい。
- お手持ちの楽器を 1/4 標準ケーブルを使用して本機のジャックに接続して下さい。
- お手持ちの楽器のボリュームコントロールを調整したり、入力レベルを調整して、クリップインジケーターが時々光るレベルに調整して下さい。
- お使いの MIDI 対応音楽ソフトの MIDI 入力を”i2M musicport”に設定して下さい。
- お使いのオーディオソフトのオーディオ入力を”Hi-Z Input (i2M musicport)”に設定して下さい。
- お手持ちの楽器を演奏すると、MIDI とオーディオ信号がパソコンソフトに送信されます。

i2M musicport Software

Downloads

ソフトウェアは下記の Sonuus のウェブサイトからダウンロード可能です。i2M musicport をご使用になる際は、最新のソフトウェアバージョンにアップグレードすることをお薦め致します。下記のアドレスでリンクからダウンロードして下さい。

[http://www.kohske.com/sonuus/
software.sonuus.com](http://www.kohske.com/sonuus/software.sonuus.com)

Firmware Updates (ファームウェア アプデイト)

最新ソフトをお使いになる為に、i2M musicport のファームウェアをアップグレードする事が可能です。アップグレードは OSX と Windows 両方に対応しております。

最新のファームウェア (.sfu ファイル) ハオナジ SONUUS ウェブサイトからダウンロード可能です。

ASIO Driver (ASIOドライバー)

Windows PC ユーザー用に、ASIO オーディオドライバーをお使いになると、標準の Windows ドライバーより遅れの少ない環境でご使用になる事が出来ます。i2M musicport ASIO ドライバーもダウンロードしてご使用になる事が出来ます。

ASIO は OSX には必要ありません。

(ASIO は Steinberg Media Technolgies GmbH が開発した技術です)

i2M musicport Software (i2M ミュージックポート ソフトウェア)

i2M musicport は、6 つのゾーンを持ち、最大同時で 6 つの異なった MIDI チャンネルで MIDI を送信するとても強力な機能です。またそれぞれのゾーンはそれぞれ異なった単独の設定が可能です。

ご自分の用途に合わせてオペレーティングモードをカスタム化し、他の i2M ユーザーの方々とセッティングを交換しあう事も可能です。

次の項で工場出荷時の初期設定の基本機能に関して説明致します。i2M musicport ソフトウェアの詳細に渡る機能と使い方に関しては別途 i2M musicport の取説をご覧ください (ウェブサイトからダウンロード可能です)。

Hi-Z USB Audio Interface (Hi-Z USB オーディオ・インターフェイス)

i2M musicport にはハイ・インピーダンス (Hi-Z) オーディオ入力回路が装備されています。時にエレクトリック・ギターやダイナミック・マイクのような典型的なライン入力の際に問題になるような、楽器の入力信号の劣化を最小限に抑えています。

16 ビット・48kHz のハイ・クオリティ デジタルオーディオ機能を装備していますので、お好きなオーディオ・アプリケーションやライブでのご使用時に、例えばアンプ・シミュレーターなどを同時にお使いになる事で、非常に良い音質が実現されています。

MIDI Converter (MIDI コンバーター)

Modes (モード)

i2M musicport には MIDI コンバージョンの設定用に 4 つのオペレーティング・モードがあります。これらの設定はオーディオ入力には何も影響せず、オーディオ入力は常にアクティブとなっております。

工場出荷時の初期設定のモードは下記の SONUUS ロゴの色で認識されます。

Mode 1	緑
Mode 2	緑の点滅
Mode 3	オレンジ
Mode 4	オレンジの点滅

工場出荷時のモード設定は下記となります。

Mode 1	ギター
Mode 2	ギター (ピッチバンドを効かせない クロマチック・モード)
Mode 3	5弦ベース
Mode 4	5 弦ベース (ピッチバンドを効かせない クロマチック・モード)

(例 : 緑点灯 = ギター : オレンジ点灯 = 5 弦ベース : オレンジ点滅 = クロマチックモード)

それぞれのモードは本機の前面 SONUUS ロゴの横にあるモードボタンを押す事で選択出来ます。SONUUS ロゴが緑に点滅もしくは点灯している際は、モードボタンを押す事で Mode 1 と Mode 2 もしくは Mode 3 と Mode 4 が切り替えられます。Mode 1、2から Mode 3、4 に切り替えるにはモードボタンを2秒以上長押しして下さい。

それぞれ4つのモードは i2M musicport ソフトウェアを使用する事で、カスタム化する事が出来ます。それぞれのモードを異なった楽器や、異なった MIDI ゾーンを設定してご使用可能です。

Chromatic

i2M musicport は正確に音程を検出し、MIDI ピッチバンドメッセージを送信しますが、例えばピアノの音源など、一部ピッチバンド情報が必要無い音源があります。その際、ピッチバンド情報を送信しないクロマチックモードを選択するなど、音色にあったモードをご使用下さい。

MIDI Pitch Bend Sensitivity (MIDI ピッチベンド センシティブィティ)

ピッチベンドに関して、±2 セミトーンが 一番一般的な設定となり、i2M の工場出荷初期設定も、そのように設定されています。お使いの楽器と MIDI 音源の音程が正しくチューニングされるように、MIDI 音源のピッチベンド・レンジも±2 セミトーンに設定して下さい。

モードボタンを押してモードが切り替わった際、“Pitch-Bend Sensitivity” MIDI RPN メッセージが送信されます。これにより、お使いの MIDI 音源のピッチベンド・レンジが i2M musicport の設定レンジに自動的に合うようになります。 但し全てのシンセサイザーにこのメッセージ機能が搭載されているわけでは、御座いませんので、お使いのシンセの機能により、この機能が働かない場合があります。

もちろんスペシャルエフェクトとして、その他のピッチベンドレンジを設定する事は可能です。 i2M musicport ソフトウェアを使用する事で、ピッチベンド・レンジはフルにカスタム化することができます。

MIDI Hold Control (MIDI ホールド・コントロール)

MIDI とオーディオを一緒に使用している場合、時により通常に楽器を弾き続けながら、MIDI ノートのみホールド (持続)させたい場合があります。例えば、シンセ音源でベース音を持続発音させながら、弾いている楽器を通常に演奏する など。

i2M musicport は MIDI コントローラーを使って MIDI ノードをホールドする事が可能です。工場出荷時初期設定では、全ての MIDI チャンネルで MIDI コントローラー 4 (フットコントローラー)がホールドコントロールにアサインされています。変更したい場合は i2M musicport ソフトウェアをご使用下さい。

Usage Tips for MIDI Guitar (MIDIギターとしてご使用する場合のヒント)

お使いの楽器の出力レベルが i2M musicport に適応するようにボリューム調整して下さい。本機のクリップインジケータが点滅しない状態が適正レベルです。時々クリッピングしても本機のパフォーマンスに影響はありません。入力信号のレベルが高くと、ノートのサステインが長くなります。

弦を弾く手で多少弦をミュートすると、違った弦を弾いてしまった時に、間違った MIDI ノートを発音してしまう事が少なくなります。また早弾きする際に、直前に弾いた音の減衰を早める事で、次に弾いた音の検出を早める事になり、結果、より気持ちの良い MIDI ノート送信することになります。

i2M musicport はナチュラルなベースフレーズを打ち込んだり、弾いたりするのに最適です。早いベースフレーズを弾く場合、時に正しくトラッキングされない場合があります。これを避けるために、音源側を1もしくは2 オクターブ下にトランスポーズし、高い音程の弦を弾く事で、改善します。

とても早いスピードのフレーズを録音する必要がある場合、遅いテンポで録音し、通常速度で再生すると、より簡単に早いスピードのフレーズを録音する事が可能です。この場合、録音したフレーズは MIDI に変換されていますので、テンポを変えても音色に影響を与えません。

もし弾いたのと違う音やオクターブ違う音が出力された場合、下記を試してみてください。改善する場合があります。

- お使いのギターやベースのフロントピックアップを使用する。
- トーンコントロールを調整して、改善するかどうか試してみる。
- 弦がフレットにさわる事によるノイズが出ていないかを確認したり、あまりにも極端なパーカッシブな音を出力させない。
- 弦を新しい弦に張り替える
- 弾き方をいろいろ試して、i2M にあった奏法や音程をトライする。時に弦を弾く強さを弱めに弾くと改善する場合があります。

i2M musicport はお使いの楽器を正確にピッチ変換しますので、お使いの楽器のチューニングが合っていない場合、その通りに MIDI 変換されてしまいますのでご注意ください。

注：多くのシンセサイザーのベース音色は、MIDI ノートに対して 1 オクターブ下の音程が出力されるように設定されています。自分の楽器のオクターブとシンセ音源のオクターブが合っていないと感じた場合、音源側のオクターブ設定がどうなっているかご確認の上、必要に応じてオリジナルの音程に設定してご使用してみてください。もしくは、i2M musicport ソフトウェアをご使用して MIDI ノートにトランスポーズする事で解決する場合があります。

Further Information (その他のインフォメーション)

Recommendations (推奨)

i2M musicport を雨の中、多湿の場所でご使用にならないで下さい。万が一、濡れてしまった場合、コンピューターとお使いの楽器から i2M を外し、一度乾かしてから再度ご使用下さい。

i2M musicport を開けないで下さい。本機にはユーザーが修理可能なパーツは使われておらず、本機にダメージをきず場合があります。

Warranty (保証)

i2M musicport はご購入日から 1 年間の限定保証です。保証期間中に不良パーツや組み立てに起因する理由で故障した場合、無償修理もしくは交換対応となります (交換する製品は使用済みの完動品の場合もあります)。意図的、もしくは意図せず間違った使用方法をしたり、改造した場合は保証期間内であっても保証対象になりません。正しい目的で正しくお使いになる事はユーザー様の責任となります。保証範囲は、本機をご購入された方に対して、ご購入された価格の範囲内となります。

保証適用での修理をご希望される場合は、ご購入日を証明する書類 (レシートや販売店のスタンプのついた保証書等) が必要となります。また保証内修理依頼は、本機をご購入されたお店からのみの対応となります。

Community (コミュニティー)

Sonusus のその他の商品に関しては、下記サイトをご参照下さい。

www.sonusus.com

www.kohske.com/sonusus/

Specifications (仕様)

電源	USB バスパワー
入力インピーダンス	10M Ω
入力調整	-12dB cut : 3dB ステップの+15dB ブースと (0dB = ラインレベル)
デジタルオーディオ	16 ビット / 48kHz
ピッチバンド精度	< 1セント
サイズ	75mm x 28mm x 28mm
重量	40g
入力	6.35mm (1/4 インチ) モノジャック
コンピューター	標準タイプ B USB ソケット

使用は改善の為、事前のお知らせなしに変更する場合があります。

SONUUS と i2M musicport は Sonuus Limited の登録商標です。

© Copyright 2010 Sonuus Limited, All Rights Reserved